

年間授業計画

野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 4組

使用教科書：標準 現代の国語（第一学習者）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
理解編—思考力、判断力を培う 世界を広げる 「なぜ本を読むのか（又吉直樹）」 言語が開く世界 「言葉遣いとアイデンティティ（中村桃子）」 表現編—伝える力を培う 話して伝える 「話し方の工夫」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	・指導事項 「なぜ本を読むのか（又吉直樹）」 「言葉遣いとアイデンティティ（中村桃子）」 「話し方の工夫」 ・教材 教科書 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	○	○	○	14
定期考查			○	○		1
理解編—思考力、判断力を培う 人間と文化 「水の東西（山崎正和）」 「ステレオタイプの落とし穴（原沢伊都夫）」 表現編—伝える力を培う 話して伝える 「待遇表現」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	・指導事項 「水の東西（山崎正和）」 「ステレオタイプの落とし穴（原沢伊都夫）」 「待遇表現」 ・教材 教科書 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	○	○	○	25
定期考查			○	○		1

2 学期	<p>理解編—思考力、判断力を培う 生活の中の表現 「法律の改正に関わる文章を読み比べる」 「図書委員会のポスターの掲示内容を検討する」 表現編—伝える力を培う 話して伝える 「論理的な表現」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 「法律の改正に関わる文章を読み比べる」 「図書委員会のポスターの掲示内容を検討する」 「論理的な表現」 ・教材 教科書 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。</p>	○	○	○	18
2 学期	<p>理解編—思考力、判断力を培う 社会と人間 「『弱いロボット』の誕生（岡田美智男）」 「人はなぜ仕事をするのか（内田樹）」 表現編—伝える力を培う 話して伝える 「情報の探索と選択」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・情報の妥当性を具体的に検討し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 「『弱いロボット』の誕生（岡田美智男）」 「人はなぜ仕事をするのか（内田樹）」 「情報の探索と選択」 ・教材 教科書 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・情報の妥当性を具体的に検討し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。</p>	○	○	○	24
3 学期	<p>理解編—思考力、判断力を培う 現代と社会 「イースター島になぜ森がないのか（鷲谷いづみ）」 「黄色い花束（黒柳徹子）」 表現編—伝える力を培う 話して伝える 「情報源の明示」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・進んで情報探索の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。</p>	<p>・指導事項 「イースター島になぜ森がないのか（鷲谷いづみ）」 「黄色い花束（黒柳徹子）」 「情報源の明示」 ・教材 教科書 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・進んで情報探索の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。</p>	○	○	○	19

定期 考査				○	○	1
						合計
						105

年間授業計画

野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～3組、5組

使用教科書：標準 文学国語（第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

【思考力、判断力、表現力等】「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	現代の小説(一) 「調律師のみ子さん (いしいしんじ)」 「デューク (江國香織)」  【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	・指導事項 「調律師のみ子さん (いしいしんじ)」 「デューク (江國香織)」 ・教材 教科書 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	随想(芸術) 「花のいざない (観世寿夫)」 「真珠の耳飾りの少女 (原田マハ)」 「フェルメールの技を読む (朽木ゆり子・福岡伸一)」  【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	・指導事項 「花のいざない (観世寿夫)」 「真珠の耳飾りの少女 (原田マハ)」 「フェルメールの技を読む (朽木ゆり子・福岡伸一)」 ・教材 教科書 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
	近代の小説(二) 「こころ (夏目漱石)」  【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。	・指導事項 「こころ (夏目漱石)」 ・教材 教科書 便覧	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。				



野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科： 国語 科目： 古典探究 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 3 組、5 組

使用教科書： 「高等学校 標準古典探究」第一学習社版

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考力や深い共感性、豊かな想像力を伸ばし、先人のものの見方、感じ方、考え方に触れ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって古典に親しみ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、もの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
<b>古本説話集</b> 【知識及び技能】 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。  【思考力、判断力、表現力等】 ・ 平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、平中の色好みに端を発する滑稽話のおもしろさを味わう。 ・ 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 積極的に説話を読み、滑稽味のある内容について理解を深めようとしている。	・ 授業での取り組み ・ プリント ・ 発問評価 ・ ノート ・ テスト ・ 一人一台端末の活用	【知識及び技能】 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。  【思考力、判断力、表現力等】 ・ 文章の種類を踏まえて、展開を的確に捉えている。 ・ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 積極的に説話を読み、滑稽味のある内容について理解を深めようとしている。 ・ 完了の助動詞の意味を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明しようとしていたりしている。	○	○	○	8
<b>十訓抄</b> 【知識及び技能】 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。  【思考力、判断力、表現力等】 ・ 平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、制約のある中でふさわしい返歌をした成範の機転を味わう。 ・ 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 ・ 編者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 積極的に説話を読み、成範の機転とはどのようなことであつたか理解を深めようとしている。  ・ 助動詞「る」「らる」の意味を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	・ 授業での取り組み ・ プリント ・ 発問評価 ・ ノート ・ テスト ・ 一人一台端末の活用	【知識及び技能】 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。  【思考力、判断力、表現力等】 ・ 文章の種類を踏まえて、展開を的確に捉えている。 ・ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・ 書き手の意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の展開について評価している。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 積極的に説話を読み、成範の機転とはどのようなことであつたか理解を深めようとしている。 ・ 助動詞「る」「らる」の意味を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	○	○	○	8
<b>1 学期</b> 定期考査			○	○		1
<b>古今著聞集</b> 【知識及び技能】 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。 ・ 文語のきまりについて理解を深める。  【思考力、判断力、表現力等】 ・ 著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ・ 説話という文章の種類や古典特	・ 授業での取り組み ・ プリント ・ 発問評価 ・ ノート ・ テスト ・ 一人一台端末の活用	【知識及び技能】 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品に表れている、修辞の特色について理解を深めている。  【思考力、判断力、表現力等】 ・ 文章の種類を踏まえて、展開を的確に捉えている。 ・ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	○	○	○	8

<p>有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。 ・和歌の修辞について理解し、学習の見通しをもって調べたり発表しようとしたりしている。</p> <p><b>小式部内侍と和泉式部</b> 【知識及び技能】 ・読書の意義と効用について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・『古今著聞集』の「小式部内侍が大江山の歌の事」に関連させて、著名な歌人である母和泉式部と小式部内侍との親子関係を調査する。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、小式部内侍と和泉式部に関する資料を、図書館の資料などを用いて、進んで調べようとしている。 ・集めた作品の内容を解釈し、小式部内侍と和泉式部の親子関係について考えたことを積極的に説明しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での取り組み</li> <li>・プリント</li> <li>・発問評価</li> <li>・ノート</li> <li>・テスト</li> <li>・一人一台端末の活用</li> </ul>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。 ・和歌の修辞について理解し、学習の見通しをもって調べたり発表しようとしたりしている。</p> <p>【知識及び技能】 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・関心をもった事柄に関連する古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、小式部内侍と和泉式部に関する資料を、図書館の資料などを用いて、進んで調べようとしている。 ・集めた作品の内容を解釈し、小式部内侍と和泉式部の親子関係について考えたことを積極的に説明しようとしている。</p>	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
<p><b>徒然草</b> 【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・作者の鋭い観察眼を通して綴られた、世の諸事象に関する随筆を読んで、ものの見方・考え方を深める。 ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・随筆に表れた作者の考えを積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 ・作品に表れた我が国の中世的なものの見方、考え方に対して、学習の見通しをもって理解を深めようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での取り組み</li> <li>・プリント</li> <li>・発問評価</li> <li>・ノート</li> <li>・テスト</li> <li>・一人一台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・随筆に表れた作者の考えを積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 ・作品に表れた我が国の中世的なものの見方、考え方に対して、学習の見通しをもって理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	7
<p><b>方丈記</b> 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 ・和漢混淆文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 ・文体の歴史的背景をふまえて『方丈記』を読み、学習課題に沿って、表現の特色を評価しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での取り組み</li> <li>・プリント</li> <li>・発問評価</li> <li>・ノート</li> <li>・テスト</li> <li>・一人一台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】 ・古典の作品に表れている、言葉の響きやリズムなどの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・必要に応じて書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 ・文体の歴史的背景をふまえて『方丈記』を読み、学習課題に沿って、表現の特色を評価しようとしている。</p>	○	○	○	8



野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～3組、5組

使用教科書：新選 歴史総合(東京書籍)

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
歴史の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる知識を増やし、歴史の理論について理解するとともに、諸資料から、歴史理解に必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	日本や世界の歴史的課題の理解のために、選択・判断の手がかりとなる考え方や歴史的な基本知識を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察したり、構想したことを議論している。	歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、我が国の歴史や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについて歴史的な事象を通して深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
第1章 歴史の扉 1節 歴史と私たち ○諸資料を活用し、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。 2節 歴史の特質と資料 ○日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料を活用し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い ○交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。	・指導事項 第1章 歴史の扉 1節 歴史と私たち 2節 歴史の特質と資料 第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 ・近代化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。  【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。 ・近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。  【学びに向かう力、人間性】 ・科目全体の学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。 ・近代化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。				15
(定期考査)			○	○	○	1
第2章 近代化と私たち 2節 結びつく世界と日本の開国 ①18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ②産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。	・指導事項 第2章 近代化と私たち 2節 結びつく世界と日本の開国 1 18世紀の東アジア 2 結びつくアジア諸地域 3 18世紀のヨーロッパとアジア 4 産業革命のはじまり 5 世界市場の形成 6 東アジア国際関係の変化と日本の開国 7 世界経済の変化と日本の産業革命	【知識・技能】 ・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、工業化と世界市場の形成を理解している。  【思考・判断・表現】 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。  【学びに向かう力、人間性】 ・近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。				19



3 学 期	と日本の国際社会への復帰を理解する。	2 キューバ危機と核兵器の管理 3 脱植民地化の進展と地域紛争 4 計画経済と開発 5 冷戦下の日本とアジア	・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	1
	第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い ○冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を活用し、グローバル化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。  2節 冷戦と世界経済 ①地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し、表現する (定期考査)					合計 105

年間授業計画

野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 3 組

使用教科書： 数研出版 新高校の数学Ⅱ

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・極限、微分法及び積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深くとらえて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質などに着目し、問題解決の過程や結果を振り返って統合的に考察する力を身に付けている。	・数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章：複素数と方程式  【知識及び技能】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようになる。 【思考・判断・表現】 数の範囲を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の計算ができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする。	・指導事項 第1章 複素数と方程式 式の計算 複素数と方程式 式と証明 ・教材 教科書、問題集 プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 3次式の展開の公式を利用できる。 負の数の平方根を理解し、 $i$ を用いて処理することができる。 【思考・判断・表現】 2次式の展開の公式を利用して、3次式の公式を導くことができる。 複素数の表記を理解し、複素数 $a + oi$ を実数 $a$ と同一視できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 3乗に関わる展開の公式を自ら導こうとする。 数の範囲を実数から複素数へ拡張することについて、有理数から実数に拡張したことと関連させ、考察しようとする。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
	第2章 図形と方程式  【知識及び技能】 様々な図形についてその特徴を理解し方程式に直すことができるようになる。 【思考・判断・表現】 図形の特徴から座標や式を用いてその図形を数学的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形及びそれを表す方程式から、その有用性を認識するとともに事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 第2章 図形と方程式 点と直線 円 軌跡 ・教材 教科書、問題集 プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 数直線上において2点間の距離や線分の内分点・外分点を求めることができる。 座標平面上においても2点間の距離や線分の内分点・外分点を求めることができる。 【思考・判断・表現】 三角形の重心の性質を適切に利用できる。 円上のテント中心との距離が一定であることに着目し、円の方程式について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数直線上の点に関する公式を利用して、平面上の場合を考察しようとする。 $x$ 、 $y$ の2次方程式があらわす図形に興味・関心を持つ。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1



年間授業計画

野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科：数学 科目：数学A 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 4組～5組

使用教科書：数研出版 新高校の数学A

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発見的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
図形の性質、場合の数と確立についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見出し、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動とのかわりに着目し、事象に数学の構造を見出し、数理的に考察する力を養う。	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 集合の要素の個数を、数え上げることのできるようになる。 【思考・判断・表現】 場合の数を求めるときの基本的な考え方について理解を深めることができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 場合の数を求める考え方を事象の考察に活用できるようになる。	・指導事項 第1章 場合の数と確率 集合 集合と要素の個数 和の法則と積の法則 ・教材 教科書、問題集 プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 共通部分や和集合、全体集合、補集合などの集合に関する用語を理解し、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 条件を満たすものを集合の要素として考え、表すことができる。 ものを数え上げるのに集合を利用して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合の考えについて興味を持ち、いろいろな集合を表そうとする。	○	○	○	12
	定期考査		○	○		1	
	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 簡単な場合の数を、順列や組合せの考えを利用して求めることができるようになる。 【思考・判断・表現】 基礎の考え方を活用するなどして順列や組合せについて考察することができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事例にも順列や組合せの考え方が用いられることと興味を持ちそれらの事象の考察に活用できるようになる。	・指導事項 第1章 場合の数と確率 順列 組合せ ・教材 教科書、問題集 プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 順列や組合せの意味を理解し、公式を利用することができる。 さまざまな場合の数を順列や組合せの考えを利用して求めることができる。 【思考・判断・表現】 順列の総数と組合せの総数の関係を理解し、その総数を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな場合の数を求めるのに、順列や組合せの考え方が使えることに、興味・関心をもつ。	○	○	○	13
定期考査		○	○		1		
2 学期	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 確率の意味と確率を求めるときの基本的な法則についての理解を深め活用できるようになる。 【思考・判断・表現】 物事の起こりやすさを同様に確からしいという概念をもとに数值的に考察できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率の意味や法則を事象の考察に活用できるようになる。	・指導事項 第1章 場合の数と確率 事象と確率 独立な試行と確率 期待値 ・教材 教科書、問題集 プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 確率の定義を理解し、簡単な確率を求めることができる。 確率の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 試行の結果を事象としてとらえ、事象を集合と結び付けて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 理論上のサイコロと実生活におけるサイコロの厳密性の違いを知ること、数学が理論的な思考によって成り立っていることに興味・関心を持つ。	○	○	○	14
	定期考査		○	○		1	
	第2章 図形の性質 【知識及び技能】 図形の基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求めることができるようになる。 【思考・判断・表現】 角の大きさや辺の長さを求めるのに、図形のどの性質を使えばよいか判断できるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 第2章 図形の性質 角の二等分線 三角形の外心・内心 円周角の定理 ・教材 教科書、問題集 プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 角の二等分線と線分の長さの比の定理を理解し、それらを用いてへんや線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 三角形の性質を証明するのに、既習事項を用いて論理的に考察することができる。 円周角の定理の逆を理解し、等しい角に着目して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形の基本性質についてすでに学んだ事象を思い出し、それらを活用できる場面を見出そうとしている。	○	○	○	13
定期考査		○	○		1		
3 学期	第2章 図形の性質 【知識及び技能】 円に関する基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや線分の長さを求めることができるようになる。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質を見出し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形についてのさまざまな性質についてそれらを観察したり考察したりすることで、空間認識力の育成を図る。	・指導事項 第2章 図形の性質 円に内接する四角形 方べきの定理 空間図形 ・教材 教科書、問題集 プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 円に内接する四角形の性質や方べきの定理などを理解し、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 円と直線を動的にとらえ、それらの位置関係を考察することができる。 多面体の頂点、辺、面の数に關して成り立つ性質を具体的な例によって確認し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 四角形が円に内接する条件に興味を持ち、考察しようとする。 相似を利用した方べきの定理の導き方に興味を持つ。	○	○	○	13
	定期考査		○	○		1	
						合計	70

野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 3 組

使用教科書：改訂 物理基礎（東京書籍）

教科 理科 の目標：自然の事物・現象に関わり、理科の味方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに必要な技能を身に

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、探究する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動の表し方についての観察、実験などを通して、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録など	運動の表し方について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	運動の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数	
1 編 1 章 運動の表し方 【知識及び技能】 時刻と時間、移動距離と変位、速さと速度の違いを理解する。 v-t グラフ、x-t グラフの特徴を理解する。 運動の特徴やグラフで表したときの特徴を理解する。 自由落下や投げ上げ、投げ下ろしによる運動がどのような運動か理解し、その加速度について理解する。 物体の運動は水平方向と鉛直方向に分けて考えることができることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 その運動の特徴を考察し、グラフを用いて正確に表現する。 実験結果をどのように分析すればよいかを科学的に考察する。 自由落下運動や等加速度直線運動、投げ下ろした物体、投げ上げた物体、水平投射された物体の運動のようすを表す式の導き方を理解し、表現する。 【学びに向かう力・人間性等】 身近な物の運動に見られる現象について、自分の体験等を踏まえて考える。  中間考査	1 編 1 章 運動の表し方 ①運動の表し方 ②等速直線運動 ③合成速度と相対速度 ④直線運動の加速度 ⑤落体の運動 実験  教材 教科書、プリント  中間考査  1 編 2 章 さまざまな力とそのはたらき ①力とつり合い 実験 ②運動の法則 ③さまざまな運動とはたらく力 実験  教材 教科書、プリント  期末考査	1 編 1 章 運動の表し方 【知識及び技能】 時刻と時間、移動距離と変位、速さと速度の違いを理解している。 v-t グラフ、x-t グラフの特徴を理解している。 運動の特徴やグラフで表したときの特徴を理解している。 自由落下や投げ上げ、投げ下ろしによる運動がどのような運動か理解し、その加速度について理解している。 物体の運動は水平方向と鉛直方向に分けて考えることができることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 その運動の特徴を考察し、グラフを用いて正確に表現している。 実験結果をどのように分析すればよいかを科学的に考察している。 自由落下運動や等加速度直線運動、投げ下ろした物体、投げ上げた物体、水平投射された物体の運動のようすを表す式の導き方を理解し、表現している。 【学びに向かう力・人間性等】 身近な物の運動に見られる現象について、自分の体験等を踏まえて考えようとしている。  中間考査  1 編 2 章 さまざまな力とそのはたらき 【知識及び技能】 力の3要素と、2つの力が物体にはたらくときの力のつり合いの条件について理解している。 力の合成と分解について、作図を通して理解している。 慣性の法則や運動方程式、作用・反作用の法則、物体にはたらく重力について理解している。 静止摩擦力と動摩擦力の共通点や相違点を理解している。 水中の物体にはたらく水圧や浮力と、アルキメデスの原理について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 物体にはたらく力、物体に生じる加速度、物体の質量についての関係を定量的に調べ実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。 【学びに向かう力・人間性等】 身のまわりのさまざまな物体にはたらく力について主体的に考え、その性質や共通点などについて考えようとしている。  期末考査					
1 学期  1 編 2 章 さまざまな力とそのはたらき 【知識及び技能】 力の3要素と、2つの力が物体にはたらくときの力のつり合いの条件について理解する。 力の合成と分解について、作図を通して理解する。 慣性の法則や運動方程式、作用・反作用の法則、物体にはたらく重力について理解する。 静止摩擦力と動摩擦力の共通点や相違点を理解する。 水中の物体にはたらく水圧や浮力と、アルキメデスの原理について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 物体にはたらく力、物体に生じる加速度、物体の質量についての関係を定量的に調べ実験結果を科学的に分析、考察し、表現する。 【学びに向かう力・人間性等】 身のまわりのさまざまな物体にはたらく力について主体的に考え、その性質や共通点などについて考える。  期末考査							
			○	○	○	12	
			○	○	○	12	

2 学 期	<p>1編3章 力学的エネルギー 2編1章 熱</p> <p>【知識及び技能】 仕事とエネルギーの関係、仕事の原理、仕事率について理解する。 運動エネルギーと位置エネルギーについて理解し、定量的に表す。 力学的エネルギーが保存される場合、保存されない場合について理解する。また、熱などまで含めれば全てのエネルギーが保存されている（エネルギー保存の法則が成り立つ）ことを理解する。 熱と温度について理解する。 熱がエネルギーであることや物質の三態と潜熱について理解する。 熱量の保存や熱力学第1法則を理解する。 熱効率と可逆変化、不可逆変化について理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 仕事とエネルギーの関係がどうなっているかを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現する。 物質の種類によって温度変化に必要な熱量が異なるか調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 仕事や仕事率、エネルギーについて考察し、表現しようとする。 物質の種類によって温度変化に必要な熱量が異なるか調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察する。</p> <p>中間考査</p> <p>【知識及び技能】 波は振動であることを理解し、波源や媒質について理解している。また、直線状に伝わる波の波形について理解する。 <math>y-x</math> グラフと <math>y-t</math> グラフとの関係を理解している。また、波の速さ、周期、振動数、波長の関係を理解する。 波の独立性と波の重ね合わせの原理、定在波について理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 中学校の既習事項から、P波やS波について考え、自分なりにそれらの相違点について考え、表現する。 波が重なって定在波ができるようすを、作図を通して表現する。 固有振動の特徴を調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現する。 気柱内に定在波が生じると予測し、それを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 人がつくるウェーブや、リボンを付けたつる巻ばねがつくる波について、異なる点や気付いたことを考えたり表現しようとする。 固有振動の特徴を調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、他人の実験結果や考察と比較しながら議論して深く考える。 気柱内に定在波が生じると予測し、それを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、他人の実験結果や考察と比較しながら議論して深く考える。</p> <p>期末考査</p>	<p>1編3章 力学的エネルギー ①エネルギーと仕事 ②運動エネルギーと位置エネルギー ③力学的エネルギーの保存 ④力学的エネルギーが保存されない場合 実験</p> <p>2編1章 熱 ①温度と熱 実験 ②熱の移動と保存 ③熱と仕事 ④熱効率と不可逆変化 実験</p> <p>教材 教科書、プリント</p> <p>中間考査</p> <p>2編2章 波 ①波を表す ②波の重ね合わせ 実験 ③音の性質 ④弦の固有振動 ⑤気柱の固有振動 実験</p> <p>教材 教科書、ワーク、プリント</p> <p>期末考査</p>	<p>1編3章 力学的エネルギー 2編1章 熱</p> <p>【知識及び技能】 仕事とエネルギーの関係、仕事の原理、仕事率について理解している。 運動エネルギーと位置エネルギーについて理解し、定量的に表すことができる。 力学的エネルギーが保存される場合、保存されない場合について理解している。また、熱などまで含めれば全てのエネルギーが保存されている（エネルギー保存の法則が成り立つ）ことを理解している。 熱と温度について理解している。 熱がエネルギーであることや物質の三態と潜熱について理解している。 熱量の保存や熱力学第1法則を理解している。 熱効率と可逆変化、不可逆変化について理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 仕事とエネルギーの関係がどうなっているかを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。 物質の種類によって温度変化に必要な熱量が異なるか調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 仕事や仕事率、エネルギーについて考察し、表現しようとしている。 物質の種類によって温度変化に必要な熱量が異なるか調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察している。</p> <p>中間考査</p> <p>【知識及び技能】 波は振動であることを理解し、波源や媒質について理解している。また、直線状に伝わる波の波形について理解している。 <math>y-x</math> グラフと <math>y-t</math> グラフとの関係を理解している。また、波の速さ、周期、振動数、波長の関係を理解している。 波の独立性と波の重ね合わせの原理、定在波について理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 中学校の既習事項から、P波やS波について考え、自分なりにそれらの相違点について考え、表現している。 波が重なって定在波ができるようすを、作図を通して表現している。 固有振動の特徴を調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。 気柱内に定在波が生じると予測し、それを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 人がつくるウェーブや、リボンを付けたつる巻ばねがつくる波について、異なる点や気付いたことを考えたり表現しようとしている。 固有振動の特徴を調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、他人の実験結果や考察と比較しながら議論して深く考えようとしている。 気柱内に定在波が生じると予測し、それを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、他人の実験結果や考察と比較しながら議論して深く考えようとしている。</p> <p>期末考査</p>	○	○	○	8
				○	○	○	8



野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科： 理科 科目： 化学基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： 新編 化学基礎（東京書籍）

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の味方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに必要な技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、探究する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標： 科学的に探求するために必要な知識・技能を日常生活との関わりを意識しながら身につけさせる。観察、実験を通して、身につけた知識・技能を活用して科学的に探究する力を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験の基本的な技能を身につける。	観察、実験などを行い、化学的な事象について科学的に探究する力を身につける。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1編 化学と人間生活 1章 化学とは何か 【知識及び技能】 化学の特徴を理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身につけさせる。 【思考力・判断力・表現力】 観察・実験などを通して、物質の性質について科学的に考察し表現する力を身につけさせる。 【学びに向かう力・人間性等】 身のまわりの化学に関する現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	1編 化学と人間生活 1章 化学とは何か ・身のまわりの物や化学的な事象 ・物質の性質とその利用  実験：チョークと塩酸の反応、エタノールと水の混合 教材：教科書、ワーク、プリント	1編 化学と人間生活 1章 化学とは何か 【知識及び技能】 身のまわりには物質が多くあり、化学反応が様々な場面で応用されることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 物質の性質をもとに、実験結果を予測したり考察したりすることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 身のまわりの物質や化学的な事象についての話し合いを通じて、化学とは何か考えようとしている。		○	○	2
2章 物質の成分と構成元素 【知識及び技能】 化学と物質について、物質の分離、精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解し、物質を分離・精製する技能を身につけさせる。 【思考力・判断力・表現力】 化学と物質について、物質の性質から様々な混合物の分離・精製法を話し合ったり考えたり、表現したりする力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象を身近な事例と関連付けながら科学的に探究しようとする態度を養う。	2章 物質の成分と構成元素 ①物質の成分 ②物質の構成元素 ③物質の三態  実験：混合物の分離（ワインの蒸留、醤油から塩を取り出す） 教材：教科書、ワーク、プリント	2章 物質の成分と構成元素 【知識及び技能】 化学と物質についての実験などを通して、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解しているとともに、ガスバーナーの使用やろ過など基本的な実験操作を行うことができる。 【思考力・判断力・表現力】 化学と物質について、物質の性質から様々な混合物の分離・精製法を話し合ったり考えたり、表現したりすることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について、身近な現象と関連付けながら科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
中間考査						
1学期 2編 物質の構成 1章 原子の構造と元素の周期表 【知識及び技能】 原子の構造、電子配置と周期表について理解させる。 【思考力・判断力・表現力】 物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の構成との関連を考えて表現する力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 身のまわりのものの構成元素を調べたり、現象を微視的な視点で探究しようとする態度を養う。	2編 物質の構成 1章 原子の構造と元素の周期表 ①原子の構造 ②電子配置と周期表	2編 物質の構成 1章 原子の構造と元素の周期表 【知識及び技能】 原子の構造、電子配置と周期表について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の構成との関連を考えて表現できる。 【学びに向かう力・人間性等】 身のまわりのものの構成元素を調べたり、現象を微視的な視点で探究しようとしている。	○	○		1
2章 化学結合 【知識及び技能】 イオンや化学結合について電子配置の観点から理解し、物質の性質との関係を整理できるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 イオンや化学結合について、実験・観察などを通してさまざまな物質を分類したり、特徴や考えたことを表現したりする力を身につけさせる。 【学びに向かう力・人間性等】 イオンや化学結合に関する実験・観察を通して様々な事物・現象に関り、身のまわりの事物・現象に結び付けて探究しようとする態度を養う。	2章 化学結合 ①イオンとイオン結合 ②分子と共有結合 ③金属と金属結合 ④化学結合と物質の分類  実験：イオンと電導度、物質の分類（化学結合） 使用教材：教科書、ワーク、プリント	2章 化学結合 【知識及び技能】 イオンや化学結合について電子配置の観点から理解し、物質の性質との関係を整理できている。 【思考力・判断力・表現力】 イオンや化学結合について、実験・観察などを通してさまざまな物質を分類したり、特徴や考えたことを表現したりすることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 イオンや化学結合に関する実験・観察を通して様々な事物・現象に関り、身のまわりの事物・現象に結び付けて探究しようとしている。	○	○	○	14

	期末考査				○	○		1
2 学 期	<p>3編 物質の変化 1章 物質量と化学反応式 【知識及び技能】物質量の概念や化学反応の書き方を理解させる。また、定量実験に関する基礎的な技能を習得させる。 【思考力・判断力・表現力】化学反応式や物質量の考え方を基に、生成物の量を予測したり、実験結果から考えられることを表現する力を身につけさせる。 【学びに向かう力・人間性等】身のまわりの事象を化学反応の観点から考え、主体的に事物・現象を科学的に探究する態度を養う。</p> <p>中間考査</p> <p>2章 酸と塩基 【知識及び技能】酸・塩基と中和について理解させ、溶液を調製したり中和滴定を行ったりするための実験技能を身につけさせる。 【思考力・判断力・表現力】実験を通して酸・塩基の性質について考えたり、定量的な観点で酸・塩基、中和滴定に関する実験の結果を予測したりすることができる力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】身のまわりの酸・塩基や中和反応について主体的に考えたり、科学的に探究したりしようとする態度を養う。</p>	<p>3編 物質の変化 1章 物質量と化学反応式 ①原子量・分子量・式量 ②物質量 ③溶液の濃度 ④化学反応の表し方 ⑤化学反応式の表す量的関係</p> <p>実験：炭酸水素ナトリウムの熱分解、炭酸水素ナトリウムとシュウ酸の反応 教材：教科書、ワーク、プリント</p> <p>2章 酸と塩基 ①酸と塩基 ②水素イオン濃度とpH ③中和反応と塩の生成 ④中和滴定</p> <p>実験：中和滴定（塩酸と水酸化ナトリウムの中和反応） 教材：教科書、ワーク、プリント</p>	<p>3編 物質の変化 1章 物質量と化学反応式 【知識及び技能】物質量の概念や化学反応の書き方を理解している。また、定量実験に関する基礎的な技能を習得している。 【思考力・判断力・表現力】化学反応式や物質量の考え方を基に、生成物の量を予測したり、実験結果から考えられることを表現する力を身につける。 【学びに向かう力・人間性等】身のまわりの事象を化学反応の観点から考え、主体的に事物・現象を科学的に探究しようとしている。</p> <p>2章 酸と塩基 【知識及び技能】酸・塩基と中和について理解し、溶液を調製したり中和滴定を行ったりするための実験技能を習得している。 【思考力・判断力・表現力】実験を通して酸・塩基の性質について考えたり、定量的な観点で酸・塩基、中和滴定に関する実験の結果を予測したりすることができる。 【学びに向かう力・人間性等】身のまわりの酸・塩基や中和反応について主体的に考えたり、科学的に探究したりしようとしている。</p>	○	○	○	10	
	<p>3章 酸化還元反応 【知識及び技能】酸化と還元について理解させ、酸化還元滴定に関する基本的な実験技能を身につけさせる。 【思考力・判断力・表現力】実験を通して酸化還元反応について考えたり、定量的な観点で酸化還元滴定に関する実験の結果を予測したりすることができる力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】身のまわりの酸化還元反応について主体的に考えたり、科学的に探究したりしようとする態度を養う。</p> <p>学年末考査</p> <p>終章 化学が拓く世界 【知識及び技能】これまでに学習した化学に関する内容を整理させる。 【思考力・判断力・表現力】これまでの学習内容や他教科の内容を相互に関連させて、身のまわりの事物・現象について考えたり表現したりする力を身につけさせる。 【学びに向かう力・人間性等】これまでの学習を振り返りながら、化学が拓く世界を主体的に考えたり調べたりする力を養う。</p>	<p>3章 酸化還元反応 ①酸化と還元 ②酸化剤と還元剤 ③金属の酸化還元反応 ④酸化還元反応の応用</p> <p>実験：酸化還元滴定（過マンガン酸カリウムとシュウ酸の反応） 教材：教科書、ワーク、プリント</p> <p>終章 化学が拓く世界 化学基礎で学んできたことが日常生活や社会生活を支えている科学技術と結びついていることを確認する（調べ学習、プレゼン）</p>	<p>3章 酸化還元反応 【知識及び技能】酸化と還元について理解し、酸化還元滴定に関する基本的な実験技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】実験を通して酸化還元反応について考えたり、定量的な観点で酸化還元滴定に関する実験の結果を予測したりすることができる。 【学びに向かう力・人間性等】身のまわりの酸化還元反応について主体的に考えたり、科学的に探究したりしようとしている。</p> <p>終章 化学が拓く世界 【知識及び技能】これまでに学習した化学に関する内容を整理することができる。 【思考力・判断力・表現力】これまでの学習内容や他教科の内容を相互に関連させて、身のまわりの事物・現象について考えたり表現したりすることができる。 【学びに向かう力・人間性等】これまでの学習を振り返りながら、化学が拓く世界を主体的に考えたり調べたりしようとしている。</p>	○	○	○	12	
3 学 期				○	○		1	
				○	○	○	5	
							合計	
							70	













野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 スポーツⅡ

教科： 保健体育 科目： スポーツⅡ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 5 組

使用教科書：

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。

科目 スポーツⅡ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当	
							時数	
1 学期	【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい、状況に応じた操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができるようにする。	【テニス】 基礎技術の習得 ・フォアハンド ・バックハンド ・ボレー ・サーブ ・ラリー 試合形式 ・ゲームの進め方 ・審判 ・ルール ・ゲーム (シングルス・ダブルス)	【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい、状況に応じた操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。	○	○	○	22	
2 学期	【思考力、判断力、表現力等】 練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について提案できるようにする。また、チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付け仲間に伝える力を養う。	【バドミントン】 基礎技術の習得 ・サーブ ・各種ショット ・ドライブ ・ヘアピン ・クリアー ・ドロップ ・スマッシュ ・ラリー 試合形式 ・ゲームの進め方 ・審判 ・ルール ・ゲーム (シングルス・ダブルス)	【思考力、判断力、表現力等】 練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について提案できるようにする。また、チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付け仲間に伝えることができる力を身に付けている。	○	○	○	26	
3 学期	【主体的に学習に取り組む態度】 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること、また、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする態度を養う。	【ソフトボール】 基礎技術の習得 ・キャッチボール ・捕球練習（ゴロ・フライ） ・打撃練習（トス・フリー） 応用練習 ・シートノック ・ゲームバッティング 試合形式 ・試合の進め方 ・審判 ・ルール ・ゲーム	【主体的に学習に取り組む態度】 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること、また、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする態度を身に付けている。	○	○	○	22	
							合計	70

野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 スポーツⅢ

教科：保健体育 科目：スポーツⅢ 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 5組～ 組

使用教科書：

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。

科目 スポーツⅢ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	武道及び諸外国の対人的競技等における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	武道及び諸外国の対人的競技等の学習に主体的に取り組むとともに、伝統的な行動の仕方、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	【知識及び技能】 武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	【柔道】 基礎技術の習得 ・受け身 ・後ろ受け身 ・横受け身 ・前受け身 ・前回り受け身 ・固め技 ・袈裟固め ・横四方固め ・縦四方固め ・立ち技 ・足技 ・腰技 ・手技 応用練習 ・固め技約束練習 ・寝技乱取り ・かかり練習 ・乱取り 試合形式 ・試合の進め方 ・礼儀、ルール ・審判 ・試合	【知識及び技能】 武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。	○	○	○	10	
				○	○	○		
2 学期	【思考力、判断力、表現力】 武道及び諸外国の対人的競技等における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【剣道】 基礎技術の習得 ・足さばき ・構え ・面打ち ・小手打ち ・胴打ち ・切り返し 応用練習 ・二段の技 ・払い技 ・引き技 ・出ばな技 試合形式 ・試合の進め方 ・礼儀、ルール ・審判 ・試合	【思考力、判断力、表現力】 武道及び諸外国の対人的競技等における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けている。	○	○	○	14	
				○	○	○		
3 学期				○	○	○	11	
							合計	35









野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 スポーツ概論

教科：保健体育 科目：スポーツ概論 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 5組～ 組

使用教科書：基礎から学ぶスポーツ概論 改訂版

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。

科目 スポーツ概論 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>【知識及び技能】 自己に適した生涯にわたる豊かなスポーツライフを設計していくためには、各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツへの関わり方の特徴や条件があること、それらの特徴や条件に応じて無理なくスポーツを継続するための計画を立てることがあること、生涯スポーツの実践を支える環境を確保するためのスポーツの推進に向けた施策や条件及び自身の意思決定などがあることについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な関わり方において、スポーツを推進及び発展させる視点から課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、理由を添えて他者に伝える力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を養う。</p>	<p>【指導項目】 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方</p> <p>【使用教材】 ・教科書、各種資料</p> <p>ICT機器の活用、1人一台端末の活用</p> <p>【定期考査】</p>	<p>【知識及び技能】 自己に適した生涯にわたる豊かなスポーツライフを設計していくためには、各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツへの関わり方の特徴や条件があること、それらの特徴や条件に応じて無理なくスポーツを継続するための計画を立てることがあること、生涯スポーツの実践を支える環境を確保するためのスポーツの推進に向けた施策や条件及び自身の意思決定などがあることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な関わり方において、スポーツを推進及び発展させる視点から課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、理由を添えて他者に伝える力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	9
2 学期	<p>【知識及び技能】 スポーツの多様な推進及び発展に寄与するためには、対象者に応じたスポーツの指導法や参加者の経験や体力に応じた健康・安全の確保の仕方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な関わり方において、スポーツを推進及び発展させる視点から課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、理由を添えて他者に伝える力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を養う。</p>	<p>【指導項目】 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方 ・スポーツの多様な指導法と健康・安全</p> <p>【使用教材】 ・教科書、各種資料</p> <p>ICT機器の活用、1人一台端末の活用</p> <p>【定期考査】</p>	<p>【知識及び技能】 スポーツの多様な推進及び発展に寄与するためには、対象者に応じたスポーツの指導法や参加者の経験や体力に応じた健康・安全の確保の仕方を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な関わり方において、スポーツを推進及び発展させる視点から課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、理由を添えて他者に伝える力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	13
3 学期	<p>【知識及び技能】 スポーツの多様な推進及び発展に寄与するためには、対象者に応じたスポーツの指導法や参加者の経験や体力に応じた健康・安全の確保の仕方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な関わり方において、スポーツを推進及び発展させる視点から課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、理由を添えて他者に伝える力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を養う。</p>	<p>【指導項目】 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方 ・スポーツの多様な指導法と健康・安全</p> <p>【使用教材】 ・教科書、各種資料</p> <p>ICT機器の活用、1人一台端末の活用</p> <p>【定期考査】</p>	<p>【知識及び技能】 スポーツの多様な推進及び発展に寄与するためには、対象者に応じたスポーツの指導法や参加者の経験や体力に応じた健康・安全の確保の仕方を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な関わり方において、スポーツを推進及び発展させる視点から課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、理由を添えて他者に伝える力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	10
				○	○	○	1
				○	○	○	合計 35

年間授業計画

野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

芸術

科目 音楽Ⅱ

教科： 芸術

科目： 音楽Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： MOUSAⅡ

(教育芸術社)

教科： 芸術

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【主体的に学習に取り組む態度】

芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにす  
創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配	
1 学期	○歌唱 【知識及び技能】 伸びやかな発声で歌唱する  【思考力、判断力、表現力等】 曲調や歌詞を理解し歌唱表現ができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 楽曲に興味を持ち積極的に学ぼうとする姿勢を養う。	○歌唱 ・ハナミズキ ・糸	【知識及び技能】 実技テストにより伸びやかな発声で歌唱できているか。  【思考力、判断力、表現力等】 実技テストにより曲調や歌詞を理解し歌唱表現ができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 楽曲に興味を持ち積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。	○	○	○	10
	○楽典、ソルフェージュ 【知識及び技能】 音符、休符についての基礎知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音符、休符を読み演奏できるようにする。  【主体的に学習に取り組む態度】 音楽の基礎知識を積極的に学ぼうとする姿勢を養う。	○楽典、ソルフェージュ ・八分音符までのリズムを手拍子で演奏する	【知識及び技能】 実技テストにより音符、休符についての基礎知識を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 実技テストにより音符、休符を読み演奏できているか。  【主体的に学習に取り組む態度】 音楽の基礎知識を積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。	○	○	○	10
	○創作 【知識及び技能】 コード進行に適したメロディを創作し、演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 リズムや音の選び方によりメロディ構成に工夫をする。 【主体的に学習に取り組む態度】 コード進行とメロディの関りに関心を持ち主体的に創作を行う。	○創作 ・カノンのコード進行にのせてメロディを創作し、キーボードで演奏する。	【知識及び技能】 コード進行に適したメロディを創作し、演奏できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 リズムや音の選び方によりメロディ構成に工夫をしているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 コード進行とメロディの関りに関心を持ち主体的に創作活動を行っているか。	○	○	○	6
2 学期	○楽典、ソルフェージュ 【知識及び技能】 イタリア語音名、日本語音名、英語音名、臨時記号について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イタリア語音名、日本語音名、英語音名を表現に使うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽の基礎知識を積極的に学ぼうとする姿勢を養う。	○楽典、ソルフェージュ ・ヘ音記号、ト音記号3オクターブまでの読譜	【知識及び技能】 実技テスト、ワークにより音名、臨時記号について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 実技テストによりイタリア語音名、日本語音名、臨時記号を表現に使うことができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽の基礎知識を積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。	○	○	○	6
	○ギター 【知識及び技能】 コードネーム、TAB譜の学習とともにギターの基本奏法を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 曲調に合わせて工夫しながら表現する  【主体的に学習に取り組む態度】 ギターに興味を持ち技術を向上させようという姿勢を養う。	○ギター ・カントリーロード	【知識及び技能】 進度表により基本的なギターの演奏技術がついているか。 【思考力、判断力、表現力等】 進度表により演奏の工夫があるか。  【主体的に学習に取り組む態度】 ギターに興味を持ち技術を向上させようという姿勢が見られるか。	○	○	○	12
	○三線 【知識及び技能】 三線の特徴、基本奏法、工四の読み方を学習し、演奏できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 曲調に合わせて工夫しながら表現する。  【主体的に学習に取り組む態度】 三線、伝統音楽に興味をもち取り組む姿勢を養う。	○三線 ・涙そうそう	【知識及び技能】 三線の基本奏法を理解し演奏できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 曲調に合わせて表現の工夫をしているか。  【主体的に学習に取り組む態度】 三線に興味を持ち積極的に取り組んでいるか。	○	○	○	6
3 学期	○自由課題 【知識及び技能】 2年間の学習の成果を生かし技術の高い演奏をする。 【思考力、判断力、表現力等】 演奏上の工夫を自ら考え実践に生かす。演奏における鑑賞の能力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的、計画的に課題に取り組み、仲間と協力する力を養う。	○自由課題 ・内容、楽曲を自身で設定すると共に活動計画を立て自主的に練習し、最終時に発表を行う	【知識及び技能】 自身で設定した課題において完成度の高い演奏ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の演奏における表現の工夫をしているか、自身および他者の演奏について適格に観賞できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に活動に参加しているか、計画的に活動できているか。	○	○	○	20
						合計	
						70	

年間授業計画

野津田 高等学校 令和5年度 (2学年用) 教科 芸術 科目 美術

教科: 芸術 科目: 美術 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 5 組

使用教科書: 美術 I (光村出版)

教科 芸術 の目標: 美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の動きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高める美術や美術文化に対する見方や考え方を深めたりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組む、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 美術 の目標:	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
発想や構想をすることに基づき、自分の表現を具現化するために、主題に合った効果的な表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すようになる。	感じ取ったことや考えたことなどから生成した主題を基に、それぞれの表現形式の良さや効果などについて考えることができるようにする。また、主題に合った表現形式を選択し、独自性や自分らしさを発揮しながら創造的な表現の構想を練ることができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知 思 意			配点 評価
			知	思	意	
美術目を学ぶにあたり今までで美術を振り返り必要な注意事項を確認し、今後の授業で生かす。 ①楽しくまじめに制作する。②説明をしっかりと聞き、自分で考え作業する。③鑑賞ではしっかりと見聞きし、自分の思いを伝える。	1 オリエンテーション・鑑賞	1 ①授業目で求められる力の理解 ②授業内におけるのルールの理解 ③教科における自身の得意なこと、苦手なことの理解 【主体的に学習に取り組む態度】 説明を聞き、評価方法を理解する			○	1
2 自分の文化祭への「イメージ」を捉え、言葉で表現する。それを「イメージ」の元にして考えをまとめる ①文化祭「お祭り」の条件を満たしているか。 ②「イメージ」としての工夫が現れているか。 ③色彩計画と「イメージ」が備わっているか。	2 デザイン: 文化祭のイメージづくり	2 【発想】 「文化祭」というテーマに沿って構想や発想を練ることができているか 【知識・技能】 他者の考えや意図を感じ取り、新しい気付きを得ることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 課題にこたえようとしているか			○	1
3 1 自分のイメージの「イメージ」の着彩のために、鉛筆で表現する。 ①丁寧に作業できているか。 ②「イメージ」の文字を、ハチで美しく入れているか。 ③高線は定規を利用して正確に描いているか。 2 2 組み立て管理のために、着色手順と使用画材に気を付けて着色する。 ①大きな面積・明るい部分から塗り始める。 ②塗りムラの無い様に、水分量を適切に管理し絵具量が切れぬ様に計画的に作業する。 ③平筆を横に使い大きな面積を塗り、立てて細い部分を塗る。	3 デザイン: 文化祭のイメージ 下書き・着彩	3 【知識及び技能】 主体的に先を見た作業を丁寧に行っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 コンセプトに沿ったレタリングが考えているか 見せたいものが自立の構図を考えているか イメージをより改善し下書きに入っているか			○	14
4 ①強い色同士がぶつかりあわぬように「イメージ」を行う。 ②対比や同化などの効果を考え、混色し色見本を利用しながら正確に配色する。	4 デザイン: 文化祭のイメージ 着彩	4 【知識及び技能】 色彩計画に沿って、イメージが効果的な配色になるように工夫しているか 【思考力、判断力、表現力等】 イメージの視覚的効果を狙って表現の工夫ができていますか			○	16
プレゼンテーション者: 自身が制作した作品の頑張ったところや工夫点、見て欲しいところ等を、具体的に詳しく鑑賞者に伝える。 鑑賞者: 作品を見ながらプレゼンテーションをよく聞いて、作者の意図や作品の工夫点、良さを見つけ、具体的に詳しく文章にする。	5 デザイン: 文化祭のイメージ プレゼンテーション 鑑賞	【主体的に学習に取り組む態度】 作者の意図や作品の良さを感じ取ることができたか 鑑賞者に伝わるように、自分の考えを発表することができたか			○	1
具象、抽象、彫刻、塑像、広告デザイン、グラフィックデザイン、パフォーマンス、空間表現—美術には様々なジャンルがある。それぞれの特徴を把握し、その技法やコンセプトを自分の作品に生かせるように学習する。	鑑賞: 美術における様々なジャンルとその世界	【主体的に学習に取り組む態度】 材料の特徴を生かし、それぞれの特徴を理解できたか。 ②鑑賞した感想を十分に表現できたか。			○	2
自分の好きな食べ物を選び、その食べ物の食感や色合いを再現する。 ①イメージで使用する材料を目的別に検討する。 ②色の研究を行い、適した色を検討する。	1 塑像: 食品サンプル製作 アイデアスケッチ	【思考力、判断力、表現力等】 資料の特徴を生かし、自分の意図に合う表現方法を工夫しているか 参考写真を元にしっかりと色を検討しているか 【主体的に学習に取り組む態度】 説明をしっかりと聞けたか イメージに沿ってアイデアを出そうとしているか			○	4
自分の好きな食べ物を選び、その食べ物の食感や色合いを再現する。 ①イメージで使用する材料を目的別に検討する。 ②色の研究に沿って、適した色を着色する。 ③イメージよく配置し接着する。 ④仕上げの仕上げを塗り、食品の鮮やかさと劣化を防ぐ。	塑像: 食品サンプル製作 成型	【知識・技能】 材料の特徴を生かし、自分の意図に合う表現方法を工夫しているか 丁寧に制作しているか。 参考写真を元にしっかりと色を着色しているか イメージの仕上がり十分に整わせ、繊細なように接着しているか 仕上げはムラにならない様に丁寧に塗ったか 【思考力、判断力、表現力等】 ユニークな色や形を作っているか 習得した技法を活用しているか			○	16
プレゼンテーション者: 自身が制作した作品の頑張ったところや工夫点、見て欲しいところ等を、具体的に詳しく鑑賞者に伝える。 鑑賞者: 作品を見ながらプレゼンテーションをよく聞いて、作者の意図や作品の工夫点、良さを見つけ、具体的に詳しく文章にする。	塑像: 食品サンプル製作 プレゼンテーション	【主体的に学習に取り組む態度】 作者の意図や作品の良さを感じ取ることができたか 鑑賞者に伝わるように、自分の考えを発表することができたか			○	1
制作した食品サンプルからイメージしたお店の内装と外装を考慮し、身近な材料で製作する	立体造形: お店の内装・外装製作 アイデアスケッチ、製作	【知識・技能】 材料の特徴を生かし、自分の意図に合う表現方法を工夫しているか 【思考力、判断力、表現力等】 ユニークな色や形を作っているか 習得した技法を活用しているか			○	13
プレゼンテーション者: 確認した所や工夫点を分かりやすく伝える 鑑賞者: 作品を見ながらプレゼンテーションをよく聞いて、作者の意図や作品の工夫点、良さを見つけて文章に記す	立体造形: お店の内装・外装製作 プレゼンテーション	【主体的に学習に取り組む態度】 作者の意図や作品の良さを感じ取ることができたか 鑑賞者に伝わるように、自分の考えを発表することができたか			○	1
						合計
						70

野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 科目

教科：芸術 科目：書道Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1,2,3,5 組

使用教科書：書道Ⅱ（東京書籍）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする

【主体的に学習に取り組む態度】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

科目 0 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
書の表現や形式、多様性などについて幅広く知り、書の技法を身に付け、書写能力の向上を図る。同時に書の歴史を知り、自己表現のための基礎的な考え方を技能を身に付ける	書に対する考えを深め、自己が対象物に対して感じる印象を言語化し、書的美を主体的に味わう。また自己の創作意図に沿って構想と表現を工夫し制作に取り組む。	臨書や創作などの書の幅広い活動に取り組みながら、筆記具で文字を書くことを楽しみを味わい、生涯を通じて書を愛好する心情を育む。書文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を作り出す手助けを行う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	<b>単元①《篆書の学習》</b> 【知識及び技能】 文字の歴史の中で漢字、彫る文字として生まれた篆書の存在意義を理解させる 【思考力・判断力・表現力等】 篆書の特徴をとらえ、彫る字を筆表現する力を養う 【主体的に学習に取り組む態度】 漢字の原点を知ること、当時の文字の存在意義と現在も使用されている篆書を探しつなかりを導く	○漢字の成り立ちと変遷 →漢字の誕生から現在に至るまで形の変化と文字の役割 刻られた文字としての篆書の学習 ○甲骨文 ○金分 ○石鼓文 ○泰山刻石 ○自分の名前の篆書	【知識及び技能】 篆書の歴史的な位置づけを理解できたか 篆書の運筆、逆筆、藏鋒、中鋒が習得できたか 【思考力・判断力・表現力等】 篆書の特徴を忠実に表現できたか 漢字の誕生時の文字であることを意識できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 楷書とは違う書き方に積極的に向き合い、筆裁きを変化させようと心がけたか	○	○	○	12
	<b>単元②《篆刻の学習》</b> 【知識及び技能】 印の誕生した理由から様々な場面利用されて来た印の役割を理解させる 【思考力・判断力・表現力等】 印の制作過程を理解し篆刻にあった篆書を選び、表現していく 【主体的に学習に取り組む態度】 印の役割を理解し、一字一字丁寧に彫り進めるよう指導する	○印の成り立ちと役割 →封泥から落款まで様々な目的で印は作成された ○印稿 ○布字 ○印刻 ○補刀 ○押印	【知識及び技能】 歴史的な印の役割を理解できたか 印の制作過程を習得できたか 【思考力・判断力・表現力等】 篆刻にあった篆書を選び、表現できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 印の役割を理解し、一字一字を丁寧に彫り進めることができたか	○	○	○	12
2 学 期	<b>単元③《隸書の学習》</b> 【知識及び技能】 歴史の中で隸書が誕生した背景と特徴を理解させる 【思考力・判断力・表現力等】 それぞれの作品の個性と相違を鑑賞し、書分ける技法を習得させる 【主体的に学習に取り組む態度】 筆で書く漢字の書体として生まれた隸書の書風が現代の中にも生かせることを結び付けていく	○隸書の成り立ちと特徴を捉える →正書体、逆筆、藏鋒、波磔 ○乙瑛碑 ○曹全碑 ○礼器碑 の中から一点選び、半切作品に	【知識及び技能】 篆書から隸書に変わった歴史的な位置づけを理解できたか 隸書の逆筆藏鋒で波磔の書法が習得できたか 【思考力・判断力・表現力等】 隸書の生まれた背景を理解しながら、それぞれの作品の個性を表現に生かすことができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 隸書の成り立ち書風を理解することで身の回りの文字に興味を持ち、表現の幅を広げようとしているか	○	○	○	16
	<b>単元④《草書の学習》</b> 【知識及び技能】 草書は本来、隸書から変化してできた書体であることをわかっていく 【思考力・判断力・表現力等】 楷書・行書・草書への変化の過程を知り、草書への変化の過程を知るとともに表現方法を広げる上でとても大事であることを伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 草書を学ぶことで5つの書体すべて学習することになり、自己表現への結びつきを意識させる	○草書の成り立ちと特徴を捉える →速書き、 ○真草千字文 ○書譜 ○十七帖 半紙20枚分の作品を和綴りする	【知識及び技能】 草書の成り立ちを理解し、太細、緩急をつけた運筆を習得できたか 【思考力・判断力・表現力等】 楷書・行書・草書への変化を覚えることで、表現のパターンをより多く身に付けることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 草書を学ぶことで書体、書法の基礎を一通り学習した上で、それぞれの特徴、相違を書き分ける力を育てることができたか	○	○	○	16
	<b>単元⑤《漢字仮名交じりの書学習》</b> 【知識及び技能】 5つの書体の中で、自分の表現したい書体を決める 【思考力・判断力・表現力等】 古典を参考にしながら、自己表現したい子とあう書風を決めていく 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の思いを文字に表現することで自己表現の幅を広げる	○創作活動への手順を踏みながら自己表現を実現させていく	【知識及び技能】 2年間で習得した書体、古典の書風を書き分ける力をどれだけ身に付けたか 【思考力・判断力・表現力等】 書体、古典の書風を自己表現の方法にでこれまで関連づけて生かすことができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の表現したい思いを文字に表現することで自己表現の幅が広がることを意識できたか				
3 学 期	<b>単元⑥《仮名の学習》</b> 【知識及び技能】 日本古来の文字である仮名の意義と散らし書きの技法を理解する 【思考力・判断力・表現力等】 散らし書きの散らし方は様々でどこで切るかで、作品の印象が変わることを検証、体験する	○仮名の表現方法の一つ 散らし書きの特徴、書法を学ぶ ○寸松庵色紙	【知識及び技能】 平仮名、変体仮名の構成を理解し、仮名の表現方法の一つである散らし書きの方法を習得できたか 【思考力・判断力・表現力等】 散らし方を変えると作品の印象が変わることを理解し工夫できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 表現技法のひとつととらえ、今後の自己表現に生かそうとする姿勢が身についたか	○	○	○	6
	<b>単元⑦《大字の学習》</b> 【知識及び技能】 大字独特の力とリズムを体感する 個人とは違う複数人での表現を学ぶ 【思考力・判断力・表現力等】 空間を上手に使い、半紙ではできなかった筆の勢いを大事に考える 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えだけでなく、お互いの良い所を認め合いながら、工夫する	○全紙に1文字を表現する ○グループでの表現を学ぶ ○全紙2枚サイズに表現する	【知識及び技能】 大字独特の力加減とリズム感を身に作られたか 自分と他人の良い所を生かした作品制作をできたか 【思考力・判断力・表現力等】 空間をいっばいに有効活用して自分たちの思いを仲間と調和のとれた字を書くことができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 大字の醍醐味を生かした作品にできたか 個人では味わえない協調性を感じる作品にできたか	○	○	○	8
						合計	70

野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 英語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：英語 科目：英語コミュニケーションⅡ 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

使用教科書：All Aboard！English Communication II

教科 英語

の目標：

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて発展的に活用できる技能を身に付け、積極的に発信する力を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して発展的に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、発展的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、4技能によるコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて発展的に活用できる技能を身に付け、積極的に発信する力を養う。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて外国語で情報や考えの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して発展的に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、発展的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>【知識・技能】 関係代名詞、比較表現の特徴やきまりなどを理解する。コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとする。</p>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Pre-Lesson My Plans for This Year</li> <li>Lesson1 A Colorful Is land 関係代名詞 (what)</li> <li>Lesson2 With the Beatles 比較表現</li> </ul> <p>○教材 教科書、問題集、プリント、ノート、スマスク端末</p> <p>○指導や評価の方法 小テスト、パフォーマンステスト、問題集等の提出物</p>	<p>【知識・技能】 関係代名詞、比較表現の特徴やきまりなどを理解している。コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p>	○	○	○	20
	<p>定期考査</p>			○	○		1
	<p>【知識・技能】 itの用法や間接疑問文の特徴やきまりなどを理解する。コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとする。</p>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Lesson 3 Wild Men itの用法</li> <li>Lesson 4 Little Hero 間接疑問文</li> </ul> <p>○教材 教科書、問題集、プリント、ノート、スマスク端末</p> <p>○指導や評価の方法 小テスト、パフォーマンステスト、問題集等の提出物</p>	<p>【知識・技能】 itの用法や間接疑問文の特徴やきまりなどを理解している。コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p>	○	○	○	21
<p>定期考査</p>			○	○		1	
2 学 期	<p>【知識・技能】 to不定詞を含む表現や動詞の目的語になるif節の特徴やきまりなどを理解する。コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとする。</p>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Lesson 5 Special Makeup in Kabuki to不定詞を含む表現</li> <li>Lesson6 Seeds for Future Generations 動詞の目的語になるif節</li> </ul> <p>○教材 教科書、ワークブック、プリント、ノート、スマスク端末</p> <p>○指導や評価の方法 小テスト、パフォーマンステスト、ワークブック等の提出物</p>	<p>【知識・技能】 to不定詞を含む表現や動詞の目的語になるif節の特徴やきまりなどを理解している。コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p>	○	○	○	19
	<p>定期考査</p>			○	○		1



年間授業計画

野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 英語 科目 論理表現Ⅱ

教科：英語 科目：論理表現Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～3組

使用教科書：

教科 英語

の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて発展的に活用できる技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社旗的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して発展的に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的、発展的に外国語を用いてコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。

科目 論理表現Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
英語の基本的な語句や文を理解し、日常的话题などについて意見を述べたり、賛成反対の意見を根拠を示しながら伝え合うことができる。	自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように、事例や根拠を示しながら説明することができる。また社会的な話題について背景知識を活用しながら自分の考えを述べたり相手の考えを引き出したりすることができる。	自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように様々な表現を用いるなどの工夫をして伝え合おうとしている。また、相手の意見に応じて自分の考えを示しながらよりよいやり取りになるよう努めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1st Zone 自分の日常生活について話す Lesson 1 最近の出来事について説明する Lesson 2 有名人の経歴について説明する Lesson 3 できること・すべきことについて話す  【知識及び技能】 現在・過去・未来の表し方や完了形を使った表現を身に着ける。授道程を用いた表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の発言に対して感想を述べる、自分の興味に基づいた物事を紹介する、相手の話題について推測を述べる、日本の文化について紹介する、などの表現を身に着ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の意見を相手に伝えたり、相手の言いたいことを確かめたり推測しながら聞いたりすることで発展的なやり取りになるよう工夫する。	・指導事項 Lesson 1 現在・過去・未来の表現 Lesson 2 現在完了・過去完了の表現 Lesson 3 助動詞を用いた推測の表現  ・教材 教科書・ワークブック・補充プリント ・パフォーマンステスト ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 現在・過去・未来の表し方や完了形・助動詞を使って日常生活について英語でやり取りできる。  【思考・判断・表現】 相手の発言に対して感想を述べる、自分の興味に基づいた物事を紹介する、相手の話題について推測を述べる、日本の文化について紹介する、などして英語でやり取りができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 自分の意見を相手に伝えたり、相手の言いたいことを確かめたり推測しながら聞いたりすることでよりよいコミュニケーションになるよう工夫して英語でやり取りできる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	2nd Zone 社会とのかかわりについて話す Lesson 5 防災について考える Lesson 6 都市構造について議論する  【知識及び技能】 受動態を用いた「～される」の表現や不定詞を用いた様々な表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 伝統文化について伝えたり、社会的課題について論じたりする表現を身に着ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 相手の発言内容を確認したり、理由をたずねたりしながらよりよいやり取りになるよう工夫する。	・指導事項 Lesson 4 受動態を用いた表現  Lesson 5 不定詞の名詞的・形容詞的・福祉的用法を用いた表現 Lesson 6 to不定詞を用いた様々な表現  ・教材 教科書・ワークブック・補充プリント ・パフォーマンステスト ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 受動態を用いた「～される」の表現や不定詞を用いた様々な表現を使って日常生活や社会とのつながりについて英語でやり取りできる。  【思考・判断・表現】 相手の意見やその理由を尋ねる、聞き返すなどして相手の意見や発言に応じて英語でやり取りができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 相手の発言内容を確認したり理由をたずねたりしながら発展的なやり取りになるよう工夫して英語でやり取りできる。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3rd Zone 食について考える Lesson 7 ICTとバリアフリー社会について考える 3rd Zone グローバリゼーションとアイデンティティ	・指導事項 Lesson 7 「～すること」のほか、動名詞の様々な表現 Lesson 8 現在分詞と過去分詞を用いた様々な表現	【知識・技能】 「～すること・したこと・されること」を動名詞を使って表現する。「～している…」と分詞などで説明を加えた表現。関係代名詞を用いて人物や場所について説明するなどし					



野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： 図説家庭基礎

教科 家庭

の目標： 実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が

【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに技能？

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を身につけている。

【主体的に学習に取り組む態度】課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、生

科目 家庭基礎 の目標： ・家族や生活の営みを人の一生とのかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、そ	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 自分らしい生き方と家族 (知識・技能) ・ライフステージ、発達課題、ライフの自立について理解できる (思考・判断・表現) ・自分のライフコースを考えること ・自分にとっての家族について考える (主体的に学習に取り組む態度) ・職業について近い将来のことという意識をもって積極的に学習に臨む ・将来の自分が作る家族について考えようとする	第1章 自分らしい生き方と家族 指導事項 ・人生 ・青年期・労働 ・生活時間・男女共同参画社会 ・家族・社会環境の変化や課題 ・家族に関わる法律	(知識・技能) ワーク・定期考査  (思考・判断・表現) ワーク・定期考査  (主体的に学習に取り組む態度) ワーク・レポート	○	○	○	8
	第2章 子どもとかわる (知識・技能) ・子どもの発達について理解する ・保育やかかわりの重要性を理解する (思考・判断・表現) ・どのようなかわり方がいかに (主体的に学習に取り組む態度) ・自分の将来と結び付けながら考え、学習しようとする	第2章 子どもとかわる 指導事項 ・誕生・発達 ・生活習慣と健康・食生活衣生活 ・遊び・親になること ・環境・法律・制度	(知識・技能) ワーク・定期考査 (思考・判断・表現) ワーク・定期考査 (主体的に学習に取り組む態度) ワーク・レポート	○	○	○	8
	第3章 高齢者とかわる (知識・技能) ・現在の高齢社会について理解する ・介護の課題を理解する (思考・判断・表現) ・高齢期について自分と結び付けながら考えようとする (主体的に学習に取り組む態度) ・高齢者へのインタビューなどを行い、理解を深めようとする。	第3章 高齢者とかわる 指導事項 ・高齢社会・高齢者 ・介護・制度	(知識・技能) ワーク・定期考査 (思考・判断・表現) ワーク・定期考査 (主体的に学習に取り組む態度) ワーク・レポート	○	○	○	6
	第4章 社会とかわる (知識・技能) ・社会福祉の重要性を理解する ・福祉制度、社会保障制度について (思考・判断・表現) ・支えあう活動への興味・関心を持って、調査・参加しようとする (主体的に学習に取り組む態度) ・地域の福祉について調査を行い、自分でできることについて考え、まとめることができる	第4章 社会とかわる 指導事項 ・共生・社会保険制度 ・社会の一員としての役割	(知識・技能) ワーク・定期考査 (思考・判断・表現) ワーク・定期考査 (主体的に学習に取り組む態度) ワーク・レポート	○	○	○	4
2 学 期	第5章 食生活をつくる (知識・技能) ・健康と食生活のかかわりを理解する ・栄養素の体の中での働きについて ・食品を適切に選択することができる ・日本の食生活の現状・課題について (思考・判断・表現) ・食生活の安全性について考えることができる ・食品ロスに配慮した調理実習をできる (主体的に学習に取り組む態度) ・調理実習において積極的に参加しようとしている	第5章 食生活をつくる 指導事項 ・食生活と健康・栄養素 ・食品の選択と表示・食品の衛生 ・食料自給率、食の未来と環境へ ・食事摂取基準・献立作成 ・調理の基本	(知識・技能) ワーク・定期考査 (思考・判断・表現) ワーク・定期考査 (主体的に学習に取り組む態度) ワーク・レポート・調理実習	○	○	○	18
	第6章 衣生活をつくる (知識・技能) ・衣服の起源について理解できる ・衣服素材の保温性や通気性など (思考・判断・表現) ・ファストファッションの問題点を把握し、行動を見直すことができる (主体的に学習に取り組む態度) 実習に積極的に参加しようとしている	第6章 衣生活をつくる 指導事項 ・人と衣服のかかわり・健康で安 ・衣服素材、衣生活の計画 ・衣服の管理・持続可能な衣生活	(知識・技能) ワーク・定期考査 (思考・判断・表現) ワーク・定期考査 (主体的に学習に取り組む態度) ワーク・レポート・実習	○	○	○	10
3 学 期	第7章 住生活をつくる (知識・技能) ・住まいの機能や文化を理解できる ・災害とその対策について理解できる (思考・判断・表現) ・自然災害に対して、防災・減災対策 (主体的に学習に取り組む態度) ・住まいにおいて、課題を見つけ、改善に向けて積極的に取り組もう	第7章 住生活をつくる 指導事項 ・人と住まいのかかわり・平面計 ・ライフステージと住まいの計画 ・健康に配慮した住まい・安全な ・持続可能な住まい・これからの	(知識・技能) ワーク・定期考査 (思考・判断・表現) ワーク・定期考査 (主体的に学習に取り組む態度) ワーク・レポート	○	○	○	6
	第8章 経済的に自立する (知識・技能) ・家計の構成がわかる ・長期的な経済設計が立てられる (思考・判断・表現) ・給与の使い方をシミュレーションし (主体的に学習に取り組む態度) ・ライフイベントや生活のリスクについて思考することができる	第8章 経済的に自立する 指導事項 ・収入・支出を把握する・社会と ・長期的な経済計画・家計	(知識・技能) ワーク・定期考査 (思考・判断・表現) ワーク・定期考査 (主体的に学習に取り組む態度) ワーク・レポート	○	○	○	4
	第9章 消費行動を考える (知識・技能) ・契約のしくみを理解できる ・販売方法の種類や内容について (思考・判断・表現) ・問題商法の被害を未然に防いだ (主体的に学習に取り組む態度) ・SDGs について、身近な例をもと	第9章 消費行動を考える 指導事項 ・契約と主体的な消費行動 ・問題商法、法律 ・支払い方法・消費者の権利と責 ・持続可能な社会	(知識・技能) ワーク・定期考査 (思考・判断・表現) ワーク・定期考査 (主体的に学習に取り組む態度) ワーク・レポート	○	○	○	6
							合計
							70



年間授業計画

野津田 高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 福祉 科目 介護福祉基礎

教科: 福祉 科目: 介護福祉基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 4 組

使用教科書: 7 実教 福祉702 介護福祉基礎 副教材: 最新 介護福祉士養成講座 3 介護の基本 I 4 介護の基本 II

教科 福祉 の目標: 福祉における実践的・体験的な学習活動を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人の育成を目指す

- 【知識及び技術】 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする
- 【思考力、判断力、表現力等】 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う
- 【主体的に学習に取り組む態度】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

科目 介護福祉基礎 の目標: 介護の意義と役割を理解するとともに関連する技術を身に付け、地域における継続した生活の支援を担う職業人として必要な資質・能力を育成する

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
基礎的な介護知識の習得のほか、現代の福祉課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解し、関連する技術を身に付ける。また、様々な資料から、介護福祉分野における課題を読み取り、現在の状況を知り介護実習の実践に繋げる。	介護に関する課題を発見し、職業人に求められる適切な倫理観を養い、科学的根拠に基づいた介護方法を身に付け、確かな創造力に基づいた介護実践する力を養う。	よりよい社会の実現（共生社会）に向けて、自己に求められている役割を理解すると共に、現代の諸課題を整理し主体的に解決しようとする態度を養う。福祉の見方・考え方を多面的に捉える力を養い協働的に取り組む力も身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
第1章 介護福祉とは ○介護の成り立ち 【知識及び技術】 専門職による「介護」が誕生した経緯を理解させる。 介護と看護の違いについて理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 「介護福祉士」の役割について説明させる。 「介護福祉士」という仕事が誕生した背景を説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護福祉士」の仕事について具体的なイメージを持つことができる。	・指導項目 第1章 介護福祉とは 介護の成り立ち 介護と看護の違い 介護が使われるようになった時期 介護問題への対応が始まるまでの社会福祉政策 ・教材 教科書、ワーク、プリント	介護の成り立ち 【知識及び技術】 専門職による「介護」が誕生した経緯を記入している。 介護と看護の違いについて記入している。 【思考力・判断力・表現力等】 「介護福祉士」の役割について考察する。 「介護福祉士」という仕事が誕生した背景を考察すること。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護福祉士」の仕事について具体的なイメージを相手に話すことができる。 老人福祉法が成立した背景を考察することができる。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
1 学期 ○介護問題への対応が始まるまでの社会福祉政策 【知識及び技術】 戦前の高齢者が対象となる社会福祉政策について理解する。 戦後、介護問題への対応が始まるまでのおもな社会福祉政策について理解する。 老人福祉法が成立した背景について理解する。 老人福祉法による介護問題への対応方法について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 老人福祉法が成立した背景について説明させる。 福祉三法、福祉六法が成立した背景について説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護福祉士」という仕事が誕生した背景をイメージし、介護実習に繋げることができる。	・指導項目 介護問題への対応が始まるまでの社会福祉政策 ①福祉規則、救護法、養老院 ②福祉三法、福祉六法 ③老人問題、国民年金、家庭奉仕員 ・教材 教科書、ワーク、プリント	介護問題への対応が始まるまでの社会福祉政策 【知識及び技術】 戦前・戦後における介護問題への対応が始まるまでのおもな社会福祉政策について記入している。 老人福祉法が成立した背景について記入している。 【思考力・判断力・表現力等】 老人福祉法が成立した背景について考察する。 福祉三法、福祉六法が成立した背景について考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護福祉士」という仕事が誕生した背景をイメージし、介護福祉士の仕事内容を相手に話す。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
第1章 介護福祉とは ○介護概念の変遷 【知識及び技術】 介護概念の変遷（1970年代～2000年代以降）の流れについて理解する。 介護保険制度が導入された背景について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 各年代であったことを調べて説明する。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護実習」で実習した施設について記入し実習内容をまとめ伝える。	・指導項目 介護概念の変遷 ①1970年代～2000年代以降の社会背景 ②介護保険 ・教材 教科書、ワーク、プリント	○介護概念の変遷 【知識及び技術】 介護概念の変遷（1970年代～2000年代以降）の流れについて記入している。 介護保険制度が導入された背景について記入している。 【思考力・判断力・表現力等】 各年代であったことを調べて考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護実習」で実習した施設について記入し実習内容をまとめ相手に伝える。	○	○	○	14
2 学期 定期考査			○	○		1
第1章 介護福祉とは ○介護福祉の基本理念 第2章 介護福祉士を支える団体 ○介護福祉士の役割と機能 【知識及び技術】 ノーマライゼーション、QOLの意味について理解する。 高齢者虐待の現状について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 尊厳とはどういったことなのか説明する。 【学びに向かう力・人間性等】 高齢者虐待について事例を通して考え自分自身の考えをまとめる。	・指導項目 介護福祉の基本理念 ①ノーマライゼーション ②QOL ③高齢者虐待 ・教材 教科書、ワーク、プリント	第1章 介護福祉とは ○介護福祉の基本理念 第2章 介護福祉士を支える団体 ○介護福祉士の役割と機能 【知識及び技術】 ノーマライゼーション、QOLの意味について記入する。 高齢者虐待の現状について記入する。 【思考力・判断力・表現力等】 尊厳とはどういったことなのか考える。 【学びに向かう力・人間性等】 高齢者虐待について事例を通して考え自分自身の考えをまとめ相手に伝える。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1
3 学期 第3章 介護福祉士の倫理 ○介護福祉士の倫理 第4章 自立支援の考え方 ○自立支援とは 【知識及び技術】 日本介護福祉士会の倫理綱領の内容について理解する。 ICFのグラフと内容について理解する。 リハビリテーション職の職業について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 介護福祉士が求められる倫理観について考える。 【学びに向かう力・人間性等】 介護福祉士が対象となる方にとって	・指導項目 介護福祉の基本理念 ①日本介護福祉士会倫理綱領 自立支援とは ②ICF ③リハビリテーション ・教材 教科書、ワーク、プリント	第3章 介護福祉士の倫理 ○介護福祉士の倫理 第4章 自立支援の考え方 ○自立支援とは 【知識及び技術】 日本介護福祉士会の倫理綱領の内容を記入する。 ICFのグラフと内容について記入する。 リハビリテーション職の職務内容について記入する。 【思考力・判断力・表現力等】 介護福祉士が求められる倫理観を考える。 【学びに向かう力・人間性等】 介護福祉士が対象となる方にとってどういった存在であるべきか、自分自身の考えをまとめ相手に伝える。				15







年間授業計画

野津田 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 福祉 科目 介護総合演習

教科：福祉 科目：介護総合演習 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 4組

使用教科書：副教材：最新 介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習

教科 福祉 の目標：福祉の考え方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じて、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な社会福祉の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する

【知識及び技能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【主体的に学習に取り組む態度】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養う

科目 介護総合演習 の目標：福祉の考え方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域福祉の推進と持続可能な社会福祉の創造と必要な資質・能力を育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける	地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学期 ・介護演習 【知識及び技術】 介護実習が適切かつ総合的に展開できるように、介護実習の意義や目的などについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける 【思考、判断、表現等】 介護実習を通して個人情報保護やリスクマネジメントなどについて課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 地域での継続した生活を支援する介護実習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む	・指導事項 介護演習 ・教材 プリント、PC端末	【知識及び技術】 特別養護老人ホームの概要のみならず、意義や目的、実習生としての心構えなどの説明された内容を理解し、適切に記入する 【思考、判断、表現等】 これまで他科目で学んだ知識と技術を統合し、具体的な事例について考察し、より良い生活支援について記入する 【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な事例から得た課題について、解決方法などをグループの中で話し合い、より良い方法を見つけ出し、発表する	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
2 学期 ・事例研究 【知識及び技術】 事例研究を通してサービス利用者の心理や生活状態などについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける 【思考、判断、表現等】 介護実習や福祉活動などから得た体験についての課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 介護実習がや福祉活動などから得た体験について自ら学び、事例研究に主体的かつ協働的に取り組む	・指導項目 事例研究 ・教材 プリント、PC端末	【知識及び技術】 介護実習を通して、利用者の心理や生活状態などについて、理解するとともに記入する 【思考、判断、表現等】 介護実習から福祉専門職として必要な援助方法や価値観について考え、プリントに記入する 【主体的に学習に取り組む態度】 介護実習の経験から得た課題について、解決方法などをグループの中で話し合い、より良い方法を見つけ出し、発表する	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
3 学期 ・調査、研究、実験 【知識及び技術】 調査、研究、実験を通して、福祉の各分野について理解するとともに、関連する技術を身に付ける 【思考、判断、表現等】 福祉の各分野について、調査、研究、実験などを通して課題を発見するとともに、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 福祉の各分野について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む	・指導項目 調査、研究、実験 ・教材 プリント、PC端末	【知識及び技術】 社会福祉基礎の内容と介護実習での経験から、関連する部分を理解し、記入する 【思考、判断、表現等】 介護実習や社会人講師の講演を通して、地域福祉について、福祉施設の役割等を考察し、その内容を記入する 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの学習や経験を通して、これからの福祉に必要なことなどを、グループで話し合い、まとめた内容を発表する	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
						合計
						35

